

目 次

I . 和歌山大学岸和田サテライトについて.....	1
1 . 岸和田サテライトの紹介.....	1
2 . 2つの受講制度.....	2
II . 大学院科目等履修生の募集.....	4
1 . 出願および履修願の手続き.....	4
㊦履修願.....	6
III . 学部開放授業受講者の募集.....	7
1 . 聴講申請の手続き.....	7
IV . 令和5年度前期 岸和田サテライト開講授業	9
1 . 大学院授業科目.....	9 ~10
2 . 学部授業科目.....	11~12

I. 和歌山大学岸和田サテライトについて

1. 岸和田サテライトの紹介

和歌山大学岸和田サテライトは、岸和田市をはじめとした大阪府泉州地域における住民主体の地域づくりと次代を担う人材育成に取り組んでいます。

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、平成18年4月、岸和田市立浪切ホール(現南海浪切ホール)に岸和田サテライトを開設しました。本学が有する高等教育機能を活用して、社会人のスキルアップや地域発展のニーズに即した大学院科目・学部科目を開講しているほか、専門性豊かな生涯学習の拠点として、一般市民を対象にした無料公開講座「わだい浪切サロン」や講演会も実施しています。

【学部開放授業】フィールドワークや実習を取り入れた科目を開講



フィールドワークの様子



授業の様子

【大学院経済学研究科授業】現代社会・地域課題に沿ったテーマを開講



大学院授業の様子①



大学院授業の様子②

【わだい浪切サロン】



無料公開講座

【講演会】



「岸和田サテライト友の会」講演会

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」があります。

令和5年度前期に岸和田サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。
それに伴うパソコン・WEBカメラ・マイクの他、インターネット環境等は各自でご準備ください。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上（高校生は除く）
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり (成績評価において合格した科目ごとに所定の単位が与えられます。)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円（1単位につき） ※現在、有効期限が2023年4月1日以降の方は、検定料・入学料は不要です。	聴講料 11,000円（1科目） ※現在、登録期間中の方は10,000円（1科目） ※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。 <u>ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。</u>
経済学研究科修士課程への進学	【詳しくは、経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。	/
そ の 他	サテライトの授業は、土曜日および平日夜間を中心に行います。 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトにも、科目等履修生として履修できる経済学研究科修士課程の授業科目があります。	/

●大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院(経済学研究科)の授業を土曜日および平日夜間を中心に、原則南海浪切ホールで開講します。
 - 入学資格は、大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
 - 科目等履修生として、大学院授業受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を修得できます。
 - 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講できます。
- (詳しくは、学務課学部支援室経済学部係までお問い合わせください)
- 1学期毎に履修申請が必要です。

〈問い合わせ先〉

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

【修士課程(経済学研究科)への進学】 ※詳しくは、経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。

○既修得単位認定制度

本学大学院修士課程(経済学研究科)に入学した場合、本研究科開講の科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

●学部開放授業受講制度とは

【概要】

- 学部開放授業(連携展開科目)を原則土曜日に南海浪切ホールで開講します。18歳以上(高校生は除く)であれば聴講申請できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講できます。
- 令和4年度より申請制度が変更されました。(登録料制度の廃止)

【受講可能期間】

- 2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間で「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。
- ただし登録期間の有効期限が2023年4月1日以降の学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

●募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、9～10ページをご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※令和5年度前期の授業は対面授業を予定しておりますが、大阪府下において、府(県)域を超える移動の自粛が要請されている場合、教員の出講を取りやめ、遠隔(オンライン)授業での対応とします。

また、教員が新型コロナウイルス感染症に罹患または濃厚接触者となり、自宅待機等の措置が必要となった場合については、当該授業日程を延期、もしくは当該日の授業を休講として補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境等は各自で準備してください。)

※経済学研究科は改組に伴いプログラム制となっています。進学希望の方は、出願前に修了要件等について問い合わせ先までご照会ください。(P.5 ●出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

●募集人数

各科目とも、若干名

●出願期間

令和5年2月20日(月)～2月27日(月)(必着)

●出願方法

【新規に出願される方】

学務課学部支援室経済学部係に「令和5年度和歌山大学大学院科目等履修生出願要項」をご請求のうえ、出願してください。

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
詳しくは、学務課学部支援室経済学部係までお問い合わせください。(P.5 ●出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1カ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

【現在、科目等履修生の方】

A. 履修可能期間中の方

○出願書類

「履修願」(用紙㊦)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角形2号封筒に簡易書留料金の切手(～100gまで)を貼付し、住所・宛名を記載してください。

B. 有効期限が2023年3月31日以前の方

有効期限が2023年3月31日以前の方は、新規出願者の扱いとなります。

出願書類等を学務課学部支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「岸和田サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」郵便で送付してください。

●選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、返信用封筒にて郵送します。合格者には入学手続書類を同封します。

●入学手続期間・手続方法

令和5年3月15日(水)～3月16日(木)(必着)

手続書類を学務課学部支援室経済学部係まで郵送(期限必着)または持参(9:00～17:00 ただし12:00～13:00を除く)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

●入学金・授業料

入学金 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細については、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては、入学手続書類を確認してください)

●その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

●出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

履 修 願

和歌山大学長 殿

学生番号 _____

氏 名(署名) _____

E-mail. _____

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	行政法	1
<input type="checkbox"/>	国際関係論	1

(: 該当するものに「✓」を記入してください。)

※有効期限が2023年3月31日以前の方は、学務課学部支援室経済学部係までお問い合わせください。

有効期限(西暦) 20 年 月 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」
のコピー貼付欄

III. 学部開放授業受講者の募集

1. 聴講申請の手続き

●聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位認定はありません。)

●募集科目および募集人数

「地域観光戦略論C」 (20名程度)：授業内容は11ページをご覧ください。

「一人ひとりが輝く人生を生きる」(20名程度)：授業内容は12ページをご覧ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※令和5年度前期の授業は対面授業を予定しておりますが、大阪府下において、府(県)域を超える移動の自粛が要請されている場合、教員の出講を取りやめ、遠隔(オンライン)授業での対応とします。

また、教員が新型コロナウイルス感染症に罹患または濃厚接触者となり、自宅待機等の措置が必要となった場合については、当該授業日程を延期、もしくは当該日の授業を休講として補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境等は各自で準備してください。)

※各授業では、授業内容を録画することがあります。

●聴講申請方法

1. 申請の仮登録

岸和田サテライトHPの下記のフォームより仮登録を行ってください。

仮登録フォームURL：<https://sites.google.com/view/wadaikishiwada/>

登録期間：令和5年2月20日(月) 10:00～3月23日(木) 17:00まで

※先着順となるため、募集人数を超えた場合は受講できませんのでご注意ください。

(QRコードを
お使いください)



2. 聴講料の納入

受講が可能になった方から、岸和田サテライトより申請書と振込方法(振込依頼書またはATM・ネットバンキングによる方法)を記載した書類をメールにて送付しますので聴講料をお振込みください。なお、振込後の返金はいたしかねます。

3. 申請書類の提出

金融機関などで振込依頼書またはATM・ネットバンキングにより振込後、振込金受付証明書を貼付(ATM・ネットバンキングによる振込の場合は振込金額が分かる書面コピーを添付)のうえ学部開放授業聴講申請書を和歌山大学岸和田サテライト宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きして「特定記録」郵便で送付してください。

提出期間：令和5年2月27日(月)～3月30日(木)(必着)

※持参による申請書提出は、3月30日(木)に限り受け付けますが、事前に岸和田サテライトまでご連絡ください。

※3月30日(木)までに聴講料の納入と、申請書類の提出のいずれかを欠く場合には受講できませんのでご注意ください。特に郵送する場合は、郵送期間を考慮に入れて期限までに必着する必要があります。

4. 参考

※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。

ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

聴講料とは授業料にかわるもので、

【登録期間中聴講学生】：1科目※【10,000円】です。

→令和5年4月以降の登録者証(カード)の有効期限が残っている方

【新規申請者】：上記以外の方は、1科目※【11,000円】です。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

●受講通知

申請期間の終了後、授業の案内を送付します。

●フィールドワークについて

交通費など諸費用については、各自のご負担となります。

またフィールドワークに伴う保険料をご負担いただく場合があります。

●問い合わせ先

仮登録後、7日以上過ぎてても岸和田サテライトから電子メールが届かない場合は、下記の窓口までお問い合わせください。

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 岸和田サテライト	〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 南海浪切ホール2 F	072-433-0875 (faxも同じです) kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 9:00~17:00 (日曜・月曜・祝日は休み)

IV. 令和5年度前期 岸和田サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英語表記)	行政法 (Administrative Law)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	森口 佳樹		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：4月15日(土) 9:00～12:00	第3回：5月6日(土) 9:00～12:00	
	第2回：4月22日(土) 9:00～12:00	第4回：5月20日(土) 9:00～12:00	
<p>【授業の概要・ねらい】</p> <p>統一法典が存在しないとされてきた行政法であるが、分野別に見れば統一的法典が整備されており、そのリニューアルが近時顕著である。本講義においては、行政救済法の分野における一般法である行政不服審査法と行政事件訴訟法を取り上げ、従来から指摘されてきた問題点とそれに対応する法改正、そしてなお残る問題点について、判例において指摘されてきた点を手掛かりとして順次検討する。この作業を通じて行政法総論・行政作用法の主要論点についても理解を深化させることとする。</p> <p>【授業計画】</p> <p>毎回、2名の担当者による報告・検討を予定とした割り振りとしておくが、受講生数により前後することとなる。</p> <p>第1回：行政救済法の全体像(国家補償と行政争訟)に関する基礎知識</p> <p>第2回：行政不服申し立て 教科書262頁から281頁</p> <p>第3回：行政訴訟の概要と取消訴訟の訴訟要件1 教科書282頁から297頁</p> <p>第4回：取消訴訟の訴訟要件2(処分性) 教科書297頁から305頁</p> <p>第5回：取消訴訟の訴訟要件3(原告適格と訴えの利益) 教科書305頁から316頁</p> <p>第6回：取消訴訟の本案審理 教科書316頁から328頁</p> <p>第7回：取消訴訟以外の抗告訴訟 教科書328頁から339頁</p> <p>第8回：当事者・民衆・機関訴訟 教科書339頁から345頁</p> <p>【到達目標】</p> <p>行政救済法の主要な論点について理解し、他者に自分の言葉により説明できるようになることを目標とする。</p> <p>【成績評価の方法・基準】</p> <p>報告の内容・レジュメ、討論への参加状況により評価する。</p> <p>【教科書】</p> <p>北村ほか著「行政法の基本」・第7版(法律文化社)。なお改訂版となる可能性があるので留意すること。</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>別冊ジュリスト「行政判例百選Ⅰ・Ⅱ 第8版」(有斐閣)。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>特になし。</p> <p>【履修する上で必要な事項】</p> <p>教科書の76頁から253頁を一読したうえで参加すること。</p> <p>【履修を推奨する関連科目】</p> <p>憲法などの法律学関連の科目</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>講義は、各自に割り振られる報告とそれをめぐる質疑応答により進められるので、レジュメの作成や関連する判例の参照が必要となる。特に教科書で取り上げられている「囲み判例」については、必ず報告で触れてもらうので、その内容確認が必要となる。</p> <p>【その他連絡事項】</p> <p>受講登録が完了した段階で報告担当者を決定し通知するので、留意すること。</p> <p>【授業理解を深める方法】</p> <p>授業の講義に沿った重要文献を指示しますので受講生はその論文等を事前に読んだうえで解説・議論を行う発表形式も取り入れます。</p>			

授業科目名 (英語表記)	国際関係論 (International Relations)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	藤木 剛康		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：4月13日(木) 18:00～21:00	第3回：5月11日(木) 18:00～21:00	
	第2回：4月27日(木) 18:00～21:00	第4回：5月25日(木) 18:00～21:00	
<p>【授業の概要・ねらい】</p> <p>これまでの国際関係論は、アメリカ発の理論が圧倒的な影響力を持ってきた。しかし近年、アメリカの国際的リーダーシップの後退と中国を始めとする新興国の台頭を反映して、アメリカ以外の国々の理論への関心が高まっている。この講義ではその中の一つである英国学派の国際関係理論を学び、我々の見方を相対化し、今日の国際関係の変動の背景とその展望について、英国学派の議論からどのような示唆が得られるのか、自らの意見を述べられるようになることをめざす。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2回：英国学派の概要。①「英国学派入門」の訳者解説、②参考文献、を熟読し、疑問点・論点を考えてくること。</p> <p>第3回：英国学派の背景と文脈①。第1章と第2章を熟読し、疑問点・論点を考えてくること。</p> <p>第4回：英国学派の背景と文脈②。第3章を熟読し、疑問点・論点を考えてくること。</p> <p>第5回：英国学派の歴史的・構造的方向性。第4章と第5章を熟読し、疑問点・論点を考えてくること。</p> <p>第6回：英国学派の規範的方向性①。第6章～8章を熟読し、疑問点・論点を考えてくること。</p> <p>第7回：英国学派の規範的方向性②。第9章～10章を熟読し、疑問点・論点を考えてくること。</p> <p>第8回：まとめ。最終レポートの作成</p> <p>【到達目標】</p> <p>英国学派の国際関係論の概要とその今日的な意義や限界について、自分の言葉で説明できるようになること。</p> <p>【成績評価の方法・基準】</p> <p>各回の報告(60%)と最終レポート(40%)で評価します。</p> <p>【教科書】</p> <p>バリー・ブザン「英国学派入門－国際社会論へのアプローチ」日本経済評論社</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>ヤニス・A・スティヴァクティス「第3章 英国学派」→初日の講義で議論します。各自でウェブより入手して熟読し、疑問点や論点を考えてきてください。</p> <p>https://medium.com/@BetterLateThanNever/%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E9%96%A2%E4%BF%82%E8%AB%96%E3%81%AE%E7%90%86%E8%AB%96-%E7%AC%AC3%E7%AB%A0-%E8%8B%B1%E5%9B%BD%E5%AD%A6%E6%B4%BE-693e30b5a903</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>講義の読書課題だけでなく、日常的に新聞やニュースを視聴して国際情勢に関心を持ち、理論の妥当性について考えてもらいたい。</p> <p>【履修する上で必要な事項】</p> <p>特になし</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>授業計画に沿って、各回の予習と復習を行ってください。</p> <p>【授業理解を深める方法】</p> <p>この授業は、本学アクティブラーニングガイドラインの以下の項目に該当します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥学生自らが実施する調査やトレーニングを必要とする学習 ⑧学生による発表をとまなう学習 ⑩グループワークをとまなう授業 			

2. 学部授業科目

授業科目名 (英語表記)	地域観光戦略論 C (Regional Tourism Strategies C)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	藤田 和史		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：6月17日(土) 13:00～17:00	第4回：7月22日(土) 13:00～17:00	
	第2回：7月8日(土) 13:00～17:00	第5回：8月5日(土) 13:00～17:00	
	第3回：7月15日(土) 13:00～17:00	第6回：8月12日(土) 13:00～17:00	
【授業の概要・ねらい】			
<p>観光は、「国の光を観る」という語源から、土地の風物・名所を観る行動と考えられてきました。しかし、現在の観光という行動は、語源の意義を含みつつも変化しています。自らの目的意識に基づく観光、風物・名所を観るとともにその背後にある「物語」をも楽しむ観光まで、新たな観光として深化・多様化しています。そして、現在の観光の大きな特徴は、個人の観光行動が広く発信され、それが多数に共有され、新たな観光を誘発するという点です。</p> <p>この授業ではこれまで、新しい観光の傾向、ローカルな素材の開拓について考えてきましたが、今年度はこれまでの学びをふまえて、岸和田城という実際の素材を軸にした観光プランを作成していきます。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回：ガイダンス、新しい観光と泉州・岸和田の観光戦略…今回の授業の前提を紹介します ゲストスピーカー：KIXツーリズムビューロー職員</p> <p>第2回：岸和田の観光戦略と岸和田城…岸和田城の利活用を軸とした観光戦略を考えます ゲストスピーカー：岸和田市観光課職員</p> <p>第3回：岸和田市街地の空家問題…岸和田市内で課題となっている空家について考えます ゲストスピーカー：岸和田市住宅政策課職員</p> <p>第4回：空き家と観光利活用…全国で増加している空き家とその観光への利活用を考えます ゲストスピーカー：ライター・実践家 此松武彦氏</p> <p>第5回：フィールドワーク・グループワーク…次回の報告に向けて現地を視察してプランを作成します</p> <p>第6回：グループワーク・プレゼンテーション…作成したプランを報告してもらいます ゲストスピーカー：KIX職員・岸和田市職員</p>			
【到達目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・素材を活かし、訴求力を持った観光プランを、計画・立案できる。 ・作成したプランを実践に結びつける準備ができる。 			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
各回の課題(30%)、最終回のグループワークの報告内容(20%)および最終レポート課題(50%)で評価します。			
【教科書】			
特に定めません。適宜資料を配付します。			
【参考書・参考文献】			
授業中に適宜紹介します。			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>授業は岸和田サテライトで実施します(教室は現地で案内します)。</p> <p>また、フィールドワーク、グループワーク・ワークショップを複数回含む授業です。 フィールドワークに際しましては、当日数百円程度の保険料をご負担いただきます。</p>			
【履修する上で必要な事項】			
<p>学生さんはBYODのPCを使用しますので、持参してください。</p> <p>社会人の方でPC・タブレットをお持ちの方は、ご自身のものをご持参ください。</p>			
【授業時間外学修についての指示】			
指示・配付された資料の精読、および授業で提示された課題に取り組んでもらいます。			
【授業理解を深める方法】			
本学「アクティブ・ラーニング」実施要項の以下の項目に該当します。			
③発見学習、体験学習、反転授業			
④普遍的な正答や定型的なモデルが存在しない題材に対し、学生自らが合理的な解を導き出す学習			
⑧学生による発表をともなう学習			
⑨複数の領域にまたがる解法を必要とする学習			
⑩グループワークをともなう学習			

授業科目名 (英語表記)	一人ひとりが輝く人生を生きる (Think about a society where each one can live a fulfilling life.)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	山崎 由可里、則定 百合子、武田 鉄郎、吉田 道代、古井 克憲、森 麻友子		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：4月22日(土) 13:00～17:00	第4回：5月20日(土) 13:00～17:00	
	第2回：5月6日(土) 13:00～17:00	第5回：6月3日(土) 13:00～17:00	
	第3回：5月13日(土) 13:00～17:00	第6回：6月10日(土) 13:00～17:00	
【授業の概要・ねらい】			
<p>本科目は、「一人ひとりが輝く人生を生きられない(生きにくさ)」ことを生じさせる原因やそれを解決していくにはどうしたらよいかについて考えるものである。毎回、さまざまな視点からの講話を聴き、それに基づいて「生きにくさ・生きづらさ」について考え、協議する。このことを通して、「生きにくさ・生きづらさ」の要因や解決の方向性について、受講生が自らの問題として考え、提案することをねらいとする。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回：「一人ひとりが輝く人生を生きられない(生きにくさ)ことを生じさせる社会的背景・要因とは？」 コーディネーター：山崎由可里(教育学：教育学部教授) パネラー：則定百合子(心理学：教育学部准教授) 古井 克憲(社会福祉学(障害児者福祉)・特別支援教育：教育学部准教授)</p>			
<p>第2回：「発達障害のある子どもの二次障害への対応と予防」 武田 鉄郎(元和歌山大学教育学部教授) ゲストスピーカー：北岡 大輔(和歌山大学附属特別支援学校) 畑 香織(和歌山県立たちばな支援学校)</p>			
<p>第3回：「旅行する権利とセクシュアリティ」 吉田 道代(ジェンダー・観光学：観光学部教授)</p>			
<p>第4回：「近年の青年はどのようなことに悩んでいるのか」 森 麻友子(学生相談・障害学生支援：クロスカル教育機構准教授) ゲストスピーカー：上安 涼子(保健センター非常勤講師、臨床心理士、公認心理師)</p>			
<p>第5回：「子どもの権利と「ヤングケアラー」について考える」 古井 克憲</p>			
<p>第6回：「自分らしく生きる力を育む青年期教育とは？」 山崎由可里 ゲストスピーカー：やしま学園高等専修学校教員等 (調整中)</p>			
【到達目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ○受講生が、「一人ひとりが輝く人生を生きる」ことを妨げている原因や結果を説明できる。 ○それらが地域課題であることを、根拠を示して説明できる。 ○自分やその周囲で一人ひとりが輝く人生を生きることに困難を抱えている人がいる場合を想定し、その原因を分析し、支援案を示すことができる。 			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
<p>担当者が課題を課し、それを個別に評価して、その合算値を以て全体の成績とする。</p>			
【教科書】			
<p>全体を通してのテキストは特に定めない。</p>			
【参考書・参考文献】			
<p>武田鉄郎編著(2017) 発達障害の子どもの「できる」を増やす提案・交渉型アプローチ叱らないけど譲らない支援. 学研プラス 吉田道代(2015)「同性愛者への歓待―見出された商業的・政治的価値」『観光学評論』3(1), 35-48. (J-Stageからダウンロード可能)</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>特になし</p>			
【履修する上で必要な事項】			
<p>特になし</p>			
【授業時間外学修についての指示】			
<p>特になし</p>			
【授業理解を深める方法】			
<p>次の図書を事前に購入し、読んでおくと理解が深まる。 武田鉄郎編著(2017) 発達障害の子どもの「できる」を増やす提案・交渉型アプローチ叱らないけど譲らない支援. 学研プラス</p>			

〈新型コロナウイルスへの対応について〉

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、本募集要項に記載の日程・内容等が変更される可能性があります。

詳しくは、和歌山大学岸和田サテライトホームページで確認してください。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

〈気象警報発表時・交通機関運休時等の授業取扱について〉

岸和田市に「暴風警報」または「大雨警報」、「大雪警報」が発表若しくは「南海本線」「JR阪和線」の両線が運休等した場合は、その期間中の授業は休止となります。

詳しくは、和歌山大学岸和田サテライトホームページで確認してください。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

〈個人情報の取り扱いについて〉

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。